



市町村の鳥獣被害対策担当者が現場で抱えている課題をテーマにワークショップを開催しました。出席者同士で情報交換をしながら問題点を洗い出し、解決案を議論した後、各グループで検討した内容を発表し、講師より対策の進め方や普及啓発について講評を行いました。

講座名 茨城県鳥獣被害対策講座「行政課題解決編」
日 時 令和6年7月31日（水） 午後1時から午後4時まで
場 所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 会議室
出席者 16名

受講生の声（抜粋）

- どの自治体でも鳥獣被害に対する住民の意識、実施隊（猟友会）の高齢化について共通の課題を持っていることがわかった。
- 行政職員向けだったので、実務ベースで考えることができ、参考になった。

講師のコメント

全グループで住民意識の向上と人材確保が最重要課題に挙げられた。鳥獣被害対策は行政や狩猟者だけでなく住民の協力が不可欠のため、行政の押し付けではなく住民が自発的に対策を講じたいと思えるように啓発を行うことが重要。取組の第一歩として回覧板や広報で正しい対策をPRするほか、地域の集まりの際に当地域で撮影された被害の動画を流すなど、地道なところから着実に進めてほしい。